



セカンドサーキュラー

一般社団法人

文化財保存修復学会 第48回大会 於山形

2026年6月6日(土) / 6月7日(日)

山形テルサ(山形市双葉町1-2-3)

主催 文化財保存修復学会

文化財保存修復学会第48回大会および2026年度総会のご案内

文化財保存修復学会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第48回大会および2026年度総会は、令和8年6月6日(土)、7日(日)の両日、山形テルサにて開催いたします。山形での開催は1997年以来、29年ぶりとなります。大会前日には、本大会開催にあたってご協力いただいている東北芸術工科大学文化財保存修復研究センターの見学会を予定しております。

山形は、出羽三山信仰、最上川の舟運、紅花交易などによって豊かな文化が育まれてきた地域です。厳しい冬と恵み豊かな夏がもたらす四季の風土の中で、人々は生活と信仰、ものづくりと文化を結びつけ、多様な文化遺産を今日まで受け継いできました。

山形市に所在する東北芸術工科大学の文化財保存修復研究センターは、地域に遺された文化財の保存修復実務と調査研究を教育に還元することを理念に2001年に設立され、2006年の専用施設整備を機に活動が本格化しました。絵画、彫刻、工芸品、歴史資料、埋蔵文化財など多様な対象に取り組み、実践に基づく知見が教育・研究へと活かされる場としての役割が徐々に形成されてきました。

文化財保存修復の分野は、現場での実践、科学的分析、記録、そして教育が連関することで、その技術と理念が未来へと継承されていきます。大学や研究機関は、その循環を支える重要な役割を担っています。本大会が、実践・研究・教育の関係性をあらためて共有し、文化財保存修復のこれからのを考える機会となれば幸いです。

会員の皆様にとって有意義な情報交換と議論の場となりますよう、ふるってご参加いただきますとともに、文化財に関心をお持ちの方々にもお声がけいただければ幸いです。

多くの皆様のご参集を、関係者一同、心よりお待ちしております。

2026年4月6日

一般社団法人文化財保存修復学会

記

1. 大会（研究発表）

月 日：6月6日（土）・7日（日） 会 場：山形テルサ（山形市双葉町 1-2-3）

口頭発表：テルサホール（1階）／ポスターセッション：アプローチ、ホワイエ（3階）

本大会は無料の託児所をご用意いたします。たくさんのご参加をお待ちしております。託児所は事前申込み制となります。申込み方法は大会 HP をご覧ください。

2. 総会

月 日：6月7日（日）11:00～12:00 会 場：山形テルサ テルサホール（1階）

総会出欠届：総会に出席できるのは名誉会員、正会員です。名誉会員、正会員の方は4月上旬頃に郵送する出欠届を5月25日（月）までにご投函ください。欠席の場合は必ず委任状に署名・捺印のうえ、送付をお願いいたします。

※総会終了後、第19回表彰授与式を行います。会員に関わらずご参加いただけます。

3. 学生のつどい

月 日：6月7日（日）11:00～12:00 会 場：山形テルサ 大会議室（1階）

学生の皆様の自由な意見交換の場を設けます。奮ってご参加ください。

4. 特別行事

オープスタジオ 6月5日（金）13:00～15:00 会 場：東北芸術工科大学部文化財保存修復研究センター

実施形式：事前申込制ツアー

タイトル：「文化財保存修復の技術と実践 ― 文化財保存修復研究センター施設見学 ―」

回数：2回 人数：各回10名～15名程度

申込方法については準備ができ次第 HP にてお知らせいたします。

特別ポスターセッション 6月6日（土）・7日（日） 会 場：山形テルサ アプローチ、ホワイエ（3階）

5. 懇親会

月 日：6月6日（土）18:30～20:30（予定）（※会場の参加人数に限りがございますので、申込みは先着順といたします。）

会 場：山形国際ホテル 富士の間（3階）（山形市香澄町 3-4-5）

会 費：事前振込 8,000円（一般）4,000円（学生）／当日支払い 15,000円（一般）7,500円（学生）

6. 機器等展示（出展ブース確定順に大会 HP に記載）

月 日：6月6日（土）・7日（日） 会 場：山形テルサ アプローチ、ホワイエ（3階）

7. 参加登録費

参加費	事前振込	当日
会員（一般）	6,000円	10,000円
会員（学生）	1,000円	4,000円
非会員（一般）	11,000円	14,000円
非会員（学生）	4,000円	7,000円
賛助会員4人まで（1団体）	各6,000円	各10,000円
5人目から	各7,000円	各13,000円

1) 事前登録期間：5月25日（月）登録期間を過ぎますと、当日での受付となります。

2) **本大会より、参加申込みは WEB でのお申込みのみとなります。**大会 HP の「参加申込み」頁の申込みフォームよりお申込みください。

また、クレジットカード等でのお支払いとなりますので、ご注意ください。

当日受付も、クレジットカード等でのお支払いとなります。

現金でのお取り扱いはございませんので、あらかじめご了承ください。

3) 懇親会に参加される方は、懇親会費も併せてお払込みください。

4) 払込まれた参加登録費、懇親会費は返金いたしませんのでご了承ください。

8. ご注意

・ポスター発表は6月6日（◆ P001～P047）と6月7日（◇ P048～P095）に分かれます。

・日にちをお間違えないように、また、掲示作業、撤去作業は必ず所定の時間内（6月6日（土）9:00～（1日目掲示）
／14:30～17:00（撤去）／17:00～18:00（2日目掲示）、6月7日（日）9:00～（2日目掲示）
／14:20～15:30（撤去））に終わるようにご協力をお願いします。

・ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力をお願いします。

大会 HP はこちら▶



研究発表プログラム

(◎代表研究者)

第1日目 6月6日(土)

9:00 開場・ポスター(◆P001～◆P047) 掲示作業
9:45 開会挨拶 本田光子(文化財保存修復学会理事長)

セッションⅠ

座長：池田和彦(株式会社修護)、李ガン(東京学芸大学)

10:00~10:20 東京国立博物館所蔵「TA-375 蘭図軸」の修理・調査報告
◎桐原瑛奈(東京国立博物館)、佐藤萌(東京国立博物館)、宮田将寛(東京国立博物館)
野中昭美(東京国立博物館)、山田祐子(保存修復家)、中村隆博(保存修復家)

10:20~10:40 井伊直弼息女弥千代の立雛(次郎左衛門雛)の修理報告
◎佐味義之(株式会社坂田墨珠堂)、坂田さところ(株式会社坂田墨珠堂)、雨森久晃(元興寺文化財研究所)
金澤馨(元興寺文化財研究所)、奥田晶子(彦根城博物館)

10:40~11:00 朝倉市秋月博物館所蔵 銀箔押熨斗烏帽子形兜の応急処置から本格修復へ
ー修復で判明した構造・技法と地域文化財の展示活用事例ー
◎大西智洋(大西漆芸修復スタジオ)、豊田勝彦(豊田歴世函工舎)、篠原浩之(朝倉市教育委員会)
乙藤慎(朝倉市教育委員会)

11:00~11:10 休憩

セッションⅡ

座長：杉山恵助(東北芸術工科大学)、間瀬創(国立文化財機構文化財活用センター)

11:10~11:30 可逆性再考：原則としての限界と保存修復処置の倫理性基準に関する考察
◎大川柚佳(TERRADA ART ASSIST)

11:30~11:50 19世紀の洋書に用いられた表装素材の科学的調査
◎小野智仁(国立国会図書館)、松井敏也(筑波大学)、岸創哉(筑波大学)、中野実歩(筑波大学)
真中孝行(筑波大学学術情報部)、大久保明美(筑波大学学術情報部)

11:50~12:10 国立国際美術館所蔵ジャスパール・ジョーンズ作品に使用された鉛の劣化メカニズムの考察と保存
対策の検討
◎小川絢子(国立国際美術館)、柳田明進(奈良文化財研究所)、脇谷草一郎(奈良文化財研究所)
大迫美月(奈良文化財研究所)、鳥海秀実(東京藝術大学)、日高翠(国立アトリサーチセンター)
宮崎孝道(東北大学)、阿部博志(東北大学)、渡邊豊(東北大学)

12:10~13:10 休憩
13:10~14:20 ポスター発表
14:20~14:30 休憩

セッションⅢ

座長：中村力也(宮内庁正倉院事務所)、早川典子(東京文化財研究所)

14:30~14:50 塩の再結晶による古代壁画の劣化と保存対策 ーエジプト、サッカラ地域の古代地下墳墓ー
◎西浦忠輝(国土館大学)、吹田真里子(関西大学)、アーデルアカリシュ(エジプト国立研究センター)
アシュラフエワイス(エジプト考古省サッカラ修復事務所)

14:50~15:10 絵絹の製織史と現状についての調査報告
◎京都絵美(嵯峨美術大学)

15:10~15:30 掛軸に内在する残留応力に着目した物理的変形の評価 ー可視化されない初期変形挙動の検出ー
◎李ガン(東京学芸大学)、江前敏晴(筑波大学)

15:30~15:50 武雄鍋島家資料「皆春齋御絵具」におけるコバルトガラス顔料(花紺青/スマルト)の材料
特性の傾向
◎寺島海(東京藝術大学)、貴田啓子(東京藝術大学)

15:50~16:00 休憩

セッションⅣ

- 座長：貴田啓子（東京藝術大学）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）
- 16:00~16:20 デュワー瓶水温度調湿法による異なる温湿度環境下での LSI を用いた紙の変位量観測
◎小野慎之介（東洋美術学校）、岸創哉（筑波大学）
- 16:20~16:40 真菌劣化に着目した水損紙資料における 48 時間指標の定量評価
◎岸創哉（筑波大学）、松井敏也（筑波大学）、中野実歩（筑波大学）、小野慎之介（東洋美術学校）
松田泰典（東洋美術学校）
- 16:40~17:00 間欠空調を行う収蔵庫の季節による温度調整が保存環境と空調負荷に与える影響
—博物館・美術館の持続可能な保存環境管理にむけて—
◎水谷悦子（東京文化財研究所）、伊庭千恵美（京都大学）、秋山純子（東京文化財研究所）
田中琴巳（京都大学）
- 14:30~17:00 ポスター（◆P001～◆P047）撤去作業
- 17:00~18:00 ポスター（◇P048～◇P095）掲示作業
- 18:30 懇親会

第2日目 6月7日(日)

- 9:00 開場・ポスター（◇P048～◇P095）掲示作業

セッションⅤ

- 座長：相澤邦彦（ヤマト運輸株式会社）、末森薫（国立民族学博物館）
- 9:50~10:10 保存修復教育における修復倫理・保存修復史への眼差し
◎松田泰典（東京藝術大学）、田口かおり（京都大学）、塚田全彦（東京藝術大学）
- 10:10~10:30 《少女と白鳥》（高知県立美術館所蔵）の調査と展示—真贋をめぐる判断と情報公開のプロセス—
◎田口かおり（京都大学）、塚本麻莉（高知県立美術館）
- 10:30~10:50 東京国立博物館における保存修復体制の構築と課題
◎野中昭美（東京国立博物館）、佐藤萌（東京国立博物館）、桐原瑛奈（東京国立博物館）
- 10:50~11:00 休憩
- 11:00~12:00 総会 ※総会終了後、第19回表彰授与式を行います。会員に関わらずご参加いただけます。※学生のつどい(大会議室(1階))を開催します。
- 12:00~13:00 休憩
- 13:00~14:10 ポスター発表
- 14:10~14:20 休憩

セッションⅥ

- 座長：和田浩（東京国立博物館）、和高智美（国立民族学博物館）
- 14:20~14:40 「文化財保存行動学」としての仏像修理を通じた国際交流の一事例
ポーランド共和国ポズナン国立博物館所蔵阿弥陀如来坐像修理協力とその展開
◎牧野隆夫（吉備文化財修復所）
- 14:40~15:00 地域寺院の消滅に伴う外部からのアプローチとその成果
◎渡邊真吾（東北古典彫刻修復研究所）、牧野隆夫（東北古典彫刻修復研究所）、石井智也（東北古典彫刻修復研究所）
武田忍（山辺町教育委員会）、新目巖（山辺町教育委員会）、村山賢司（山辺町文化財保護審議会）
高橋洋二（伝統建築調査修復舎）、宮本晶朗（東北芸術工科大学）、柴田紘映（世尊寺）、柴田拓修（達磨寺）
- 15:00~15:20 談山神社旧蔵襖絵の保存修復学的調査による来歴再構築—日・英・米分蔵品の構造比較と修復履歴—
◎杉山恵助（東北芸術工科大学）、上田ターニャ（シアトル美術館）、楠京子（大英博物館）
- 15:20~15:40 廃堂による文化財廃棄への対応とアート作品を介した記録：山形県寒河江市・船着観音堂を事例として
◎宮本晶朗（東北芸術工科大学）、三瀬夏之介（東北芸術工科大学）、矢野英裕（空間芸術研究所）
加藤英司（加藤建築）、鹿野護（東北芸術工科大学）、中川源洋（ニコン）
- 15:40 閉会挨拶 日高真吾（文化財保存修復学会 第48回大会実行委員会委員長）

ポスターセッション

(◎代表研究者)

第1日目

6月6日(土)

- ◆ P001 ジョージアにおける古代銅生産関連遺物の科学的調査による金属流通の検討
◎藤澤明(帝京大学文化財研究所)、KEBULADZE Nino (Georgian National Museum)
KALANDADZE Nino (Georgian National Museum)、LOMITASHVILI David (Georgian National Museum)
笹田朋孝(愛媛大学)
- ◆ P002 芦屋廃寺塚における三次元計測技術の実践的応用
◎岡本篤志(大手前大学史学研究所)
- ◆ P003 清代のチベット仏画「八駿財宝天王」に使用された材料に関する科学的調査とその保存状態
◎蕭一鳴(帝京大学大学院)、藤澤明(帝京大学文化財研究所)
- ◆ P004 古代エジプト彩色木製ステラの非破壊解析
◎ムスタファモハメド(東京藝術大学)、岡田靖(東京藝術大学)
- ◆ P005 壁画下地が染料の発色に及ぼす影響 –可視反射分光分析の色材推定に関する基礎的研究–
◎大迫美月(奈良文化財研究所)、川岸雅美(奈良文化財研究所)、田村朋美(奈良文化財研究所)
- ◆ P006 近代木版画家・中川木鈴が所有した色材の科学調査
◎大和あすか(国文学研究資料館)、土屋明日香(広重美術館)、高橋剛文(真室川町立歴史民俗資料館)
仁賀優大(東北芸術工科大学)、上野愛菜花(東北芸術工科大学)、西田典由(東京文化財研究所)
- ◆ P007 非破壊オンサイト分析による高知県立美術館所蔵《少女と白鳥》の科学的調査
◎阿部善也(東京電機大学)、齋藤旭飛(東京電機大学)、高橋暖人(東京電機大学)
村串まどか(明治大学)、塚本麻莉(高知県立美術館)、田口かおり(京都大学)
- ◆ P008 奈良国立博物館所蔵 乾漆像残欠のX線CT調査
◎加藤沙弥(奈良国立博物館)、鳥越俊行(奈良国立博物館)、山口隆介(奈良国立博物館)
岩井共二(奈良国立博物館)、内藤航(奈良国立博物館)
- ◆ P009 奈良国立博物館蔵 国宝《牛皮華鬘》の熟覧調査および科学調査に関する報告
◎小松拓也(東京藝術大学)、寺島海(東京藝術大学)、貴田啓子(東京藝術大学)、荒井経(東京藝術大学)
三田覚之(奈良国立博物館)、三本周作(奈良国立博物館)、羽良朝風(奈良国立博物館)
- ◆ P010 非破壊オンサイト分析による高知県立美術館所蔵 20世紀初頭に描かれた絵画作品4点の科学的調査
◎村串まどか(明治大学)、阿部善也(東京電機大学)、高橋暖人(東京電機大学)
齋藤旭飛(東京電機大学)、塚本麻莉(高知県立美術館)、田口かおり(京都大学)
- ◆ P011 徳島県立近代美術館『自転車乗り』贋作事案の報告 –美術館の対応と「鑑賞」のゆくえ–
◎飯田恵実(徳島県立近代美術館)、竹内利夫(徳島県立近代美術館)
- ◆ P012 ハイパースペクトルイメージングを用いた異種媒染剤による天然染料染色布の反射分光分析
◎片渕奈美香(東京文化財研究所)、紀芝蓮(東京文化財研究所)、寺島海(東京藝術大学)
西田典由(東京文化財研究所)
- ◆ P013 東京藝術大学大学美術館蔵「観音堂縁起絵」に用いられた色材について
◎鴈野佳世子(帝京大学)、岡田靖(東京藝術大学)、田中眞奈子(東京藝術大学)
- ◆ P014 ラダックのチベット仏教寺院における隠れた壁画の可視化と芸術的探究
◎末森薫(国立民族学博物館)、正垣雅子(京都市立芸術大学)、藤原智晴(関西大学)
安室喜弘(関西大学)、寺井淳一(国立民族学博物館)
- ◆ P015 彫刻文化財修復における3D技術の活用の一提案
–甲斐善光寺四天王像の全体像の把握及び修復想定図作成を例に–
◎荒川湧祐(東京藝術大学)、岡田靖(東京藝術大学)
- ◆ P016 愛知県一宮市寿福寺所蔵の扁額の復元新調にかかる分析調査
橋本沙知(国立民族学博物館)、日高真吾(国立民族学博物館)、河村友佳子(国立民族学博物館)
和高智美(合同会社文化創造巧芸)
- ◆ P017 貝殻胡粉を含む剥落片資料におけるラマン分光法を用いた調査
◎菊地恵(東京藝術大学)、貴田啓子(東京藝術大学)
- ◆ P018 科学的調査による17・18世紀のギリシャイコンの色材、技法、修復履歴の考察
◎本間裕梨奈(東京藝術大学)、村串まどか(明治大学)、田中眞奈子(東京藝術大学)

- ◆ P019 演色値の違いによる作業への影響についての研究
◎横堀篤代 (株式会社文化財保存)、今田淳 (株式会社文化財保存)、中村美葉 (株式会社文化財保存)
小林みのり (株式会社文化財保存)
- ◆ P020 ヒドロキシプロピルセルロースゲルシートによる粘着テープ除去の検討
◎秋山花子 (東京文化財研究所)、早川典子 (東京文化財研究所)
- ◆ P021 ワークショップ・レビュー：染織品保存修復におけるゲル・クリーニングの実践
ーハイドロゲルと水溶性試薬の使用について
◎佐藤萌 (東京国立博物館)、片岡真純 (宮内庁正倉院事務所)
ミナ ローラ (スミソニアン機構国立アフリカ系アメリカ人歴史博物館)
- ◆ P022 キャンバス画の裏打ちの変遷ー技術史と修復倫理の観点からー
◎鳥海秀実 (東京藝術大学)、國方沙希 (東京文化財研究所)
- ◆ P023 ミュンヘンにおける「EAST MEETS WEST」の10年
ー日本の紙修復技法を用いた国際保存修復講習会の構想・発展・成果ー
◎シュースター・石井律子 (バイエルン州立図書館保存修復研究所)
- ◆ P024 小麦デンプン糊の原料保管方法により生じる差異について
ー湿潤デンプン (生沈)・乾燥デンプンの比較ー
◎早川典子 (東京文化財研究所)、羽生彩香 (東京文化財研究所)、山田祐子 (東京文化財研究所)
趙依寧 (東京文化財研究所)
- ◆ P025 高温環境下に安置する木造彫刻における修復材料の選定
ー奈良県桜井市興隆寺十一面観音立像の修復を例にー
◎千綿深由 (東京藝術大学)、岡田靖 (東京藝術大学)、貴田啓子 (東京藝術大学)
- ◆ P026 掛軸の応急修理における折れ伏せ紙の厚み・幅が折損の緩和に与える影響
◎元喜載 (東北芸術工科大学)
- ◆ P027 修復材料に用いる CNF の保存性における加速劣化処理による評価
◎貴田啓子 (東京藝術大学)、岩田直美 (東京藝術大学)、西田典由 (東京文化財研究所)
- ◆ P028 熱帯雨林気候環境下で保管されていた油彩画に生じた劣化症状とその修復処置
ーThenard 作《Le Depart Des Hirondelles》の保存修復事例ー
◎寺田祐吉枝 (株式会社杉並絵画修復工房)、渡辺真樹子 (絵画修復家)
- ◆ P029 指示書からの作品再現——中西夏之《カーボランダム・ホワイトランダム》(1975)
◎平諭一郎 (東京藝術大学)、大森悟 (女子美術大学)、中山開 (東京藝術大学)
- ◆ P030 戦中に制作された日本画に発生したシミの発生要因とゲルを用いた修復報告
◎中右恵理子 (東北芸術工科大学)、西原紀恵 (西原絵画保存修復工房)、三浦功美子 (合同会社伝世舎)
- ◆ P031 正倉院宝物・笛吹袍の保存修復における染織品の風合い保持を目的とした修理報告
◎永田大輔 (宮内庁正倉院事務所)
- ◆ P032 東京国立博物館における野外作品のトリアージに基づく保存修復の計画と実践
◎野中昭美 (東京国立博物館)、森尾早百合 (立体作品保存修復家)、足立収一 (立体作品保存修復家)
鈴木花子 (東京国立博物館)、宮城加奈子 (立体作品保存修復家)
- ◆ P033 トレーシングクロスの保存処置事例ー重要文化財 五馬力誘導電動機〈明治四十三年、久原鋳業所製〉
附. 設計図面の保存修理事業からー
◎久利希 (修護)、森田健介 (修護)、西田典由 (東京文化財研究所)、鴨志田博美 (日立製作所)
沼田祐美 (日立製作所)、池田和彦 (修護)
- ◆ P034 ポーランド共和国ポズナン国立博物館での平安仏修理ー同国内で本像が過去に所在した地を訪ねてー
◎佐藤健彦 (吉備文化財修復所)、牧野隆夫 (吉備文化財修復所)、西巻彩子 (吉備文化財修復所)
- ◆ P035 静岡市清水区大内霊山寺仁王尊修理報告ー山腹に安置される仏像の搬入方法の一例ー
◎門田真実 (吉備文化財修復所)、牧野隆夫 (吉備文化財修復所)、佐藤健彦 (吉備文化財修復所)
西巻彩子 (吉備文化財修復所)、牧野端慶 (吉備文化財修復所)
- ◆ P036 栃木県足利市最勝寺蔵木造金剛力士立像修理事業を通して
◎井村香澄 (三乗堂)、中愛 (三乗堂)、森崎礼子 (三乗堂)
- ◆ P037 千葉県館山市洲宮神社 木造天部立像の修復と含浸強化材の比較評価
◎山田亜紀 (東京藝術大学)、森尾早百合 (東京藝術大学)、岡田靖 (東京藝術大学)
- ◆ P038 福島県内の木造彫刻における修理周期の分析
◎杉崎佐保恵 (福島県立博物館)

- ◆ P039 仏像光背の単立安定化処置について —山形県・寒河江市平塩寺蔵木造両脇侍菩薩立像の修理例から
◎渡邊真吾 (東北古典彫刻修復研究所)、牧野隆夫 (東北古典彫刻修復研究所)
石井智也 (東北古典彫刻修復研究所)、渡辺良仁 (平塩寺)
- ◆ P040 登録有形文化財 (建造物) の申請を見据えた伊東家住宅の基礎調査
◎和高智美 (合同会社文化創造巧芸)、日高真吾 (国立民族学博物館)、高科真紀 (国立民族学博物館)
- ◆ P041 指月伏見城跡出土金箔瓦からみた城郭建造物の移築と修理痕跡
◎北野信彦 (龍谷大学)、大西功紗 (龍谷大学)、田中龍太 (明治大学)、本多貴之 (明治大学)
- ◆ P042 第二次世界大戦中に実施された防空対策 —愛知県庁本庁舎で使用された偽装塗料の事例を中心に—
◎大西功紗 (龍谷大学)、北野信彦 (龍谷大学)、本多貴之 (明治大学)
加藤修治 (文化財建造物保存技術協会)、田村琢 (文化財建造物保存技術協会)
- ◆ P043 一時的に出現する文化財の保存と修復
◎朽津信明 (東京文化財研究所)
- ◆ P044 鏝絵資料の三次元計測によるドキュメンテーションと地域遺産としての保存活用への試み
◎松田泰典 (東洋美術学校)、鈴木文子 (東洋美術学校)、末森薫 (国立民族学博物館)
- ◆ P045 大学院教育と修理工房 —文化財修復大学院生インターンシップ協議会の果たした役割—
◎大林賢太郎 (京都芸術大学)、仲政明 (嵯峨美術大学)、魚島純一 (奈良大学)
杉山恵助 (東北芸術工科大学)、宇野茂男 (京都市立芸術大学)
- ◆ P046 東アジア文化遺産保存学会・国際シンポジウム
<中国、四川省・成都市：2025.10.30～11.2>の成果と課題
◎西浦忠輝 (国土舘大学)、高妻洋成 (国立文化財機構・文化財防災センター)、今津節生 (奈良大学)
- ◆ P047 韓国における文化財修理事業の実施と保存関連施設の管理運営に関する現地調査報告
◎鳴原由美 (九州国立博物館)

第2日目

6月7日(日)

- ◇ P048 屏風裏地の変遷と傾向 —中世・近世の画中画調査を中心に—
◎阪野智啓 (愛知県立芸術大学)、中神敬子 (愛知県立芸術大学)、岩永てるみ (愛知県立芸術大学)
安井彩子 (愛知県立芸術大学)、齋藤晴香 (愛知県立芸術大学)
菊池円 (名古屋城本丸御殿障壁画復元模写制作共同体)
- ◇ P049 江戸時代における張付師について
◎青木留美子 (NPO 法人文化財保存支援機構)
- ◇ P050 清代《山水草虫螺鈿角鉢》における螺鈿文様制作技法の実験的研究
——腐蝕法を用いた作業手順の検討を中心に
◎胡詩琳 (東京藝術大学)、松本達弥 (東京藝術大学)、小川名樹 (東京藝術大学)、北野珠子 (東京藝術大学)
- ◇ P051 セミレチエ発行コインの金属組織学的調査による鑄造技術の検討
◎竹井良 (帝京大学)、藤澤明 (帝京大学文化財研究所)
- ◇ P052 工学的視点から見る後藤家製刀装金具の制作方法
◎相原健作 (東京大学)、原田一敏 (ふくやま美術館)、成井美穂 (文化学園大学)
- ◇ P053 元素マッピングによる藤田嗣治「花瓶の薔薇」(1956年)の下地調査
◎白石明香 (埼玉県立さきたま史跡の博物館)、新免歳靖 (東京学芸大学)、三浦麻衣子 (帝京大学文化財研究所)
小谷野匡子 (株式会社絵画保存研究所)、関根遥 (東京学芸大学)、坂本志奈 (東京学芸大学)
- ◇ P054 近世群像仏像の造仏技法研究 —錐点の使用例について—
◎笹岡直美 (東北芸術工科大学)
- ◇ P055 奈良県法輪寺十一面観音像の板光背に使用された彩色材料及び技法に関する研究
◎池田藍子 (奈良教育大学)、青木智史 (奈良教育大学)、山岸公基 (奈良教育大学)
- ◇ P056 近似墨液インクによる書画出力技術の応用研究 —多層構造化に関する検討—
◎宇高健太郎 (東京文化財研究所)、平論一郎 (東京藝術大学)、林宏樹 (東京藝術大学)
寺師太郎 (TOPPAN 株式会社)、佐藤信博 (TOPPAN グラフィックコミュニケーションズ株式会社)
碓彩音 (TOPPAN クロレ株式会社)、間瀬康夫 (ジット株式会社)

- ◇ P057 久保惣記念美術館蔵「駒競行幸絵巻」に用いられた基底材について
◎劉夢儒（景德鎮陶瓷大学）、竹浪遠（京都市立芸術大学）
- ◇ P058 椿椿山筆《蕃殖図》の制作過程－画稿から本画への分析を通して－
◎高畑理乃（京都市立芸術大学）、高林弘実（京都市立芸術大学）、竹浪遠（京都市立芸術大学）
- ◇ P059 正倉院宝物「金薄絵馬頭」の構造および彩色調査
◎中野稚里（宮内庁正倉院事務所）
- ◇ P060 伝統的手法による鹿角膠の製造及び実験報告
◎田中直子（(宗)醍醐寺）、坂田さとし（(株)坂田墨珠堂）、梅垣淑子（(有)六法美術）
稲葉月乃（(有)六法美術）、平井美羽（(有)六法美術）、清水千尋（(株)坂田墨珠堂）、富澤千砂子（(有)六法美術）
- ◇ P061 江戸時代の画論に見る『芥子園画譜』胡粉（蛤粉）製法記載の誤伝と受容
◎郝玉墨（天津美術学院）
- ◇ P062 集古図集『聆涛閣集古帖』にみられる彩色の技法と材料
◎島津美子（国立歴史民俗博物館）
- ◇ P063 古代鉛丹の再現製作およびその成分分析
◎京都絵美（嵯峨美術大学）、西田典由（東京文化財研究所）、仏山明彦（東京藝術大学）
- ◇ P064 劣化した漆塗膜の含浸強化に使用する希釈溶媒の選択基準
◎倉島玲央（東京文化財研究所）、玉川みほの（東京文化財研究所）、早川典子（東京文化財研究所）
- ◇ P065 カルシウムの共存によるトロロアオイとノリウツギのネリの物性の違い
◎西田典由（東京文化財研究所）、趙依寧（東京文化財研究所）、羽生彩香（東京文化財研究所）
早川典子（東京文化財研究所）、貴田啓子（東京藝術大学）
- ◇ P066 和紙抄紙工程における天然由来ネリ剤の挙動と紙質形成への影響
◎李ガン（東京学芸大学）、谷野裕子（手漉き和紙たにの）
- ◇ P067 和紙の製紙工程における雪晒しに関する科学的研究
◎村上千佳（東京藝術大学）、勝亦京子（東京大学）、貴田啓子（東京藝術大学）
- ◇ P068 公文書に用いられる再生紙の初期物性の比較
◎澤井志歩（東京学芸大学）、李ガン（東京学芸大学）
- ◇ P069 明治期教科書を対象とした料紙研究 和紙から洋紙への移行過程に着目して
◎小口萌愛（東北芸術工科大学）、杉山恵助（東北芸術工科大学）、加藤雅人（東京文化財研究所）
- ◇ P070 展示環境下における紫外線・照度・温湿度のモニタリングと色差変化の比較
－展示環境を主対象とした4館共同による継続調査－
◎長谷川純子（鳴門市ドイツ館）、村田昌也（徳島市立考古資料館）、大栗美菜（徳島市立考古資料館）
飯田恵実（徳島県立近代美術館）、植地岳彦（徳島県立博物館）
- ◇ P071 漆蔵資料館（国登録有形文化財）を利用したマンガ原画の一時保管の取り組み
◎小野慎之介（東洋美術学校）、大石卓（一般社団法人マンガアーカイブ機構）
- ◇ P072 陸前高田市立博物館所蔵猫淵神社猫絵馬の保管に関する取り組み
◎足立収一（文化財保存支援機構）、及川崇（文化財保存支援機構）、本茉莉絵（文化財保存支援機構）
- ◇ P073 熊本博物館における保存環境改善の取り組み
◎坂本直也（熊本博物館）
- ◇ P074 全国の博物館・美術館等を実施したアンケート調査から見えた収蔵庫の温湿度管理の現状と課題
◎秋山純子（東京文化財研究所）、水谷悦子（東京文化財研究所）、伊庭千恵美（京都大学）
- ◇ P075 作品貸借におけるクーリ工業務の留意事項と地球環境負荷軽減の取り組み
◎相澤邦彦（ヤマト運輸株式会社）
- ◇ P076 X線CTによるオオナガシバンムシの行動・成長過程の長期的観察
◎渡辺祐基（九州国立博物館）、木川りか（九州国立博物館）、藤原裕子（京都大学）、藤井義久（京都大学）
- ◇ P077 九州国立博物館におけるカビ払い用安全設備（安全キャビネット・陰圧ブース）の導入と活用事例
◎奥島希子（九州国立博物館）、渡辺祐基（九州国立博物館）、和泉田絢子（文化財防災センター）
嶋原由美（九州国立博物館）、志賀智史（九州国立博物館）、木川りか（九州国立博物館）

- ◇ P078 ATP ふき取り法を用いた一時保管施設の清浄度調査
◎小峰幸夫（文化財防災センター）、上相英之（文化財防災センター）、多仁照廣（若狭路文化財研究所）
- ◇ P079 伊勢堂岱遺跡環状列石群における付着微生物の調査
◎河崎衣美（奈良県立橿原考古学研究所）、松井敏也（筑波大学）、石川溪人（北秋田市）
- ◇ P080 寒冷地域における博物館資料の輸送時の温湿度推移
◎大江克己（国立アイヌ民族博物館）、竹内隼人（国立アイヌ民族博物館）、八幡巴絵（国立アイヌ民族博物館）
長谷仁美（国立アイヌ民族博物館）
- ◇ P081 セメント硬化体中のバイオ炭の分散状態がアンモニア放散抑制効果に与える影響
◎矢野慧一（清水建設株式会社）、山本伸也（清水建設株式会社）、富田賢吾（清水建設株式会社）
清水和昭（清水建設株式会社）、大田悠紀子（清水建設株式会社）、天野萌菜（清水建設株式会社）
小島啓輔（清水建設株式会社）
- ◇ P082 コンクリート由来アンモニアの発生機構に関する検討と亜麻仁油黄変防止技術の開発
◎藤田聖矢（株式会社足柄製作所）、石井昭光（株式会社足柄製作所）
- ◇ P083 桐箱の製作年代別にみた有機酸濃度
◎田井東浩平（高知県立高知城歴史博物館）、山崎正彦（光明理化学工業株式会社）
- ◇ P084 紅花染料の熱堅牢度評価 — 染織品資料に付着した粘着テープの加温剥離処置の適用にむけて—
◎一宮八重（東京文化財研究所）、早川典子（東京文化財研究所）
- ◇ P085 ハイパースペクトルイメージングによる金属試験片の硫化腐食評価
◎手島菜摘（東京藝術大学）、塚田全彦（東京藝術大学）、片淵奈美香（東京文化財研究所）
西田典由（東京文化財研究所）
- ◇ P086 旧済生館本館廻廊における使用塗料の変遷および塗膜剥落要因に関する研究
◎上野愛菜花（東北芸術工科大学）、村上智見（東北芸術工科大学）、成瀬正和（東北芸術工科大学）
- ◇ P087 截金に用いられた合わせ箔の劣化と接着剤の上塗りによる劣化抑制効果について
◎仏山明彦（東京藝術大学）、田中真奈子（東京藝術大学）
- ◇ P088 被災資料群に対する応急処置・修理の総合的実践 — 2015 年関東・東北豪雨への対応—
◎天野真志（国立歴史民俗博物館）、添田仁（茨城大学）、小笠原温（鶴見修復工房）、山口悟史（東京大学史料編纂所）
- ◇ P089 令和 2 年 7 月豪雨 被災紙資料の洗浄 — 熊本県における実践と管理過程について—
◎村上幸奈（熊本博物館）、坂本直也（熊本博物館）、川路祥隆（熊本県）、丸山大輝（熊本県教育庁）
- ◇ P090 NPO 法人文化財保存支援機構の被災文化財に対する取り組み
◎八木三香（文化財保存支援機構）、本菜梨絵（文化財保存支援機構）、後閑垂有実（文化財保存支援機構）
- ◇ P091 令和 6 年能登半島地震で被災した文化財の一時保管場所の継続的な環境調査
— 石川県珠洲市の事例から
◎河村友佳子（国立民族学博物館）、日高真吾（国立民族学博物館）、橋本沙知（国立民族学博物館）
和高智美（合同会社文化創造巧芸）
- ◇ P092 2024 年山形県北部豪雨で被災した水損資料における乾燥剤を用いた凍結乾燥法
◎土屋明日香（広重美術館）、佐藤琴（山形大学附属博物館）、川田健介（新庄ふるさと歴史センター）
中尾真梨子（奈良県立橿原考古学研究所）、奥山誠義（奈良県立橿原考古学研究所）
- ◇ P093 令和 6 年能登半島地震における被災資料保管施設の環境整備について
— 令和 7 年度文化財防災センターの取り組み
◎和泉田絢子（文化財防災センター）、小峰幸夫（文化財防災センター）、由井和子（文化財防災センター）
佐藤嘉則（東京文化財研究所）、島田潤（東京文化財研究所）、秋山純子（東京文化財研究所）
水谷悦子（東京文化財研究所）、犬塚将英（文化財防災センター）、小谷竜介（文化財防災センター）
高妻洋成（文化財防災センター）
- ◇ P094 首里城火災の復興に関する報告 — 被災漆器資料の修理・復元について—
◎高嶺瑞貴（沖縄美ら島財団）
- ◇ P095 シャティアール、チラス地域（パキスタン）に遺存する岩面彫刻のダム建設に伴う危機的現状について
◎杉山智昭（奈良大学）

特別ポスターセッション

- 特1 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センターにおける活動とその歩み
北野博司
- 特2 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センターにおける受託事業の取り組み
文化財保存修復研究センター 研究員
- 特3 大学附属機関を活用した実践的教育の展開 ―東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センターと
学科教育の連携―
杉山恵助、青野友哉、北野博司
- 特4 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センターにおける東洋絵画修復部門のインターンシップの
実践と展開
元喜載、杉山恵助
- 特5 ひとつでも多くの文化遺産を未来へ ～山形文化遺産防災ネットワークの取り組み
土屋明日香（広重美術館）、佐藤琴（山形大学附属博物館）
- 特6 令和6年能登半島地震における文化財保存修復学会の復興支援活動報告（2025年度）
文化財保存修復学会 災害対策調査部会

会場案内



■大会会場

山形テルサ

〒990-0828 山形県山形市双葉町1丁目2-3

<https://yamagataterrsa.or.jp/access/>

総会会場：テルサホール（1階）

機器等展示：アプローズ、ホワイエ（3階）

学生のつどい：大会議室（1階）

JR山形駅よりお越しいただく場合

■徒歩・・・約10分

■懇親会会場

山形国際ホテル

〒990-0039 山形県山形市香澄町3丁目4-5

3階富士の間

<https://www.kokusaihotel.com/access/>

■山形テルサより徒歩約10分

第48回大会プログラム作成委員会

委員長：李ガン（東京学芸大学）

副委員長：相澤邦彦（ヤマト運輸株式会社）

委員：池田和彦（株式会社修護）／貴田啓子（東京藝術大学）／佐藤嘉則（東京文化財研究所）

末森薫（国立民族学博物館）／杉山恵助（東北芸術工科大学）

中村力也（宮内庁正倉院事務所）／野中昭美（東京国立博物館）

早川典子（東京文化財研究所）／間渕創（国立文化財機構文化財活用センター）

和田浩（東京国立博物館）／和高智美（合同会社文化創造巧芸）

（五十音順）

*お問い合わせや伝達事項につきましては大会事務局までご連絡ください。

文化財保存修復学会第48回大会 於山形

実行委員会

委員長：日高真吾（国立民族学博物館）

副委員長：和田浩（東京国立博物館）

委員：天野真志（国立歴史民俗博物館）／李ガン（東京学芸大学）／池田和彦（株式会社修護）／
伊藤壮志（東北芸術工科大学）／元喜載（東北芸術工科大学）／大江克己（国立アイヌ民族博物館）／
貴田啓子（東京藝術大学）／釘屋奈都子（ふくやま美術館）／佐藤萌（東京国立博物館）／
杉山恵助（東北芸術工科大学）／土屋明日香（広重美術館）／野中昭美（東京国立博物館）／
藤澤明（帝京大学）／間渕創（国立文化財機構）／宮本晶朗（東北芸術工科大学）／
和高智美（国立民族学博物館）／渡辺真吾（東北古典彫刻修復研究所）

（五十音順）

大会事務局：〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満 2-7-12 スターポート 株式会社アステム気付
一般社団法人文化財保存修復学会大会実行委員会事務局

URL：https://jsccp.astem-co.co.jp/taikai48 E-mail：taikai48@astem-co.co.jp

TEL：06-6354-6188

担当者は開催2か月前から常駐予定（セカンドサーキュラー公開後の平日10時～17時）。

それ以前につきましては用務に応じたの在席となりますので、お問い合わせは、なるべくメールにてお願いいたします。

学会事務局：〒110-0008 東京都台東区池之端 4-14-8-102 特定非営利活動法人文化財保存支援機構気付

TEL：03-6661-2982 FAX：03-6661-2983

本学会は学会事務と大会開催事務を別業務として行っています。

学会事務局には大会担当はおりませんので、開催についてのお問い合わせは大会事務局へお願いいたします。